

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA city

ビバ
*
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報100

VOL.
14

2016
August

石整広報100号
創刊から今へつながる想い



[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します ●

VIVA ビバ
シティ city

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報100

VOL.
14

2016
August

C O N T E N T S

- 1 巻頭言

- 2 第41回定時総会を開催

- 5 喜びの受賞者

- 8 第22回石川県柔道整復師協同組合通常総会を開催

- 9 [特集] 柔道
第29回(公社)石川県柔道整復師会 会旗争奪少年柔道大会
四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック柔道大会選手選考会
第38回北信越ブロック柔道大会

- 15 (公社)日本柔道整復師会 第38回 北信越学術大会新潟大会

- 16 石川接骨みらい塾

- 17 サポート接骨石川(SSJ)活動報告
①第30回 猿鬼歩こう走ろう健康大会
②第65回 金沢百万石まつり救護活動
③第13回 全国小学生学年別柔道大会石川県大会

- 21 石整広報100号発刊に寄せて

- 24 支部だより

- 25 新入会員紹介

- 26 トピックス

巻頭言

かんとうげん

コツコツと弛まぬ努力で 信頼を積み上げていこう

会員の皆様方には、平素より公益社団法人石川県柔道整復師会の事業活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。心より深く感謝を申し上げます。

4月14日に発生した熊本地震で被災された皆様方、そして、東日本大震災発生から5年が過ぎても未だ不自由な生活を強いられている方々には、一日でも早く正常な生活を営むことができますようお祈り申し上げます。熊本地震の被災地では同志である会員の多くが建物の倒壊、半壊の被害にあわれおり、本会としても日本赤十字社や熊本県を通して義援金を送らせて頂きました。会員皆様方のご協力を重ねて感謝申し上げます次第です。

さて今後は、本会でも会員の高齢化が進んでいくことと思われませんが、本会の運営が滞ることのないように計画的に事業を実施していかなければなりません。現在、執行部一丸となってその対策を立て実行しているところです。

日本国でも、確実に迫り来る少子高齢化社会に向けて種々の施策が検討されていますが、我が業界もこれまで以上に患者さまに寄り添いながら「安心・安全」な医療の提供はもちろんのこと、患者さまの早期社会復帰、健康寿命の延伸にと最善の努力をしていかなければなりません。また、これまで機能訓練指導員の講習会を重ねてきた実績を踏まえ、市町村で実施する地域包括ケアシステムの中で本会が協力できることについて、関係機関と協議を進めてまいりたいと思っています。

しかし一方、本会の会員ではなかったものの反社会的な人達と共謀した不正行為で摘発され

■ 嶋谷 清

(しまや きよし)
(公社)石川県柔道整復師会 会長

【プロフィール】

平成9年より6期12年間にわたり理事を務め、加賀支部長・学術部長・総務部長を歴任。平成21年より3期6年間副会長として事業活動を支え、平成27年4月、第11代会長に就任。



るという事件も記憶に新しいところです。この問題では柔道整復師会のみならず、医師会、歯科医師会においても摘発者が続き、業界全体が信頼を大きく失墜したのであります。失った信頼を取り戻すため我々は、これまで以上に会員が一丸となって公益事業活動を力強く推進することと、会員皆様方にはそれぞれの地域において様々な形で活動をされていることと思いますが、さらなる地域貢献と正業に努めていただきますようお願い申し上げます。

本会の広報誌『石整広報』は今回で発行第100号となります。昭和54年に創刊され、初代広報部長は現相談役でいらっしゃる川本力雄先生でした。以来、歴代広報部長それぞれの特色が反映された内容で発行を重ねてきました。ご尽力頂いた関係各位に心より感謝申し上げます。今後さらなる内容の充実と発展を期待するところであります。

最後になりますが、業界発展と後世の柔道整復師のために共に知恵を出し、互いに協力して頑張りましょう。各位のご理解とご協力をよろしくようお願い申し上げます。

第41回

定時総会を開催

～新しい課題・取り組みに挑む～

第41回 定時総会

(午後1時30分開会)

総会員数 / 353名

出席者数 / 205名

委任状出席者数

/ 113名

欠席者数 / 35名

平成28年4月24日(日)、石川県地場産業センターにおいて定時総会・表彰式・接骨師連盟総会が開催されました。なお、開会に先立ち日整倫理綱領が唱和され、また熊本地震の被災者への見舞いの言葉と物故会員・家族へ黙祷が捧げられました。

1、開会の辞 ニツ谷 剛彦副会長

2、会長挨拶 嶋谷 清会長



審議を前に、今期の課題や抱負について述べる嶋谷会長。

会員各位には、平素より本会事業運営にご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。ただ今から、昨年度の収支決算報告、今年度の事業計画・予算案等に入りますが、各担当部長

からは無駄をなくして節約に努めたことなど、詳細な説明があるかと思えます。

来年から始まる介護予防・日常生活支援総合事業への参入については、石川県や医師会等のご理解とご支援を頂きつつ会員の皆さまと頑張っていきたいと思えます。また日整では、柔道整復師卒後臨床研修実施の徹底、支払い基金を利用した柔道整復療養費支払い等の提案があり、審査基準やローカル協定の統一化について取り組みがなされていることをご報告します。

昨年の周年事業実施に当たっては、会員の皆さま方の多大なるご支援に心より感謝を申し上げます。5年後の北信越学術大会、10年後の創立100周年に向けた準備を進めるとともに、皆さまからの忌憚のないご意見を本会の発展のため生かせるよう一丸となって頑張りたいと思えます。(要旨抜粋)



当日は会員205名参加のもとで審議が進められた。

3、議長・副議長選出

議長に神埜郁夫会員(金沢南支部)、副議長に小松英夫会員(金沢北支部)を選出する。



議長に神埜会員(左)、副議長に小松会員が選出された。

4、議事録署名人選出

西剛志会員(加賀支部)、坂田浩之(金沢北支部)が選出された。

5、議案(審議事項)

①平成27年度事業実施報告に関する件

金田豊茂総務部長から説明される。

②平成27年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

山田俊志経理部長から説明があり、山下純二・西徹夫監事により適正に処理されている旨、監査報告があった。

③平成 28 年度事業計画案に関する件

金田総務部長から説明される。

④平成 28 年度予算案に関する件

山田経理部長から説明される。

⑤定款一部改正の件

金田総務部長からの説明の後、山田俊志法制委員長からさらに詳細な説明があった。

⑥その他

(1)金田総務部長から熊本地震被災者に送る見舞金について、説明があった。



白山への清掃登山の実施を提案する東会員。

(2)東勝一会員から白山開山 1300 年にあたり清掃登山ができないかとの提案があり、検討事項となる。

(3)各部長から今年度の抱負が述べられた。

(4)津田佳之理事から NHK の月刊誌『ラジオ深夜便』購読について説明とお願いがあった。



各部長それぞれが今年度の抱負を発表（写真は金田総務部長）。

各議案については、資料に基づく詳細な説明の後、質疑応答が行われ、拍手によって可決承認された。

6、報告事項

(1)堂本義邦副会長から熊本地震での DJAT 活動状況について報告があった。

(2)中田健市学術部長から、図書の貸し出し規定は DVD や CD 等にも適用され、従来の届け出用紙に必要事項を記入のうえ利用して頂き



中田学術部長が CD や DVD にも図書貸し出し規定が適用されることを説明した。

たいと説明がされた。

(3)西敏男理事から、平成 28 年 5 月 8 日 (日) 開催の猿鬼歩こう走ろう健康大会サポート活動について参加協力の要請があった。

7、閉会の辞

堂本 義邦副会長

総会終了後、今年度の新入会員 9 名が紹介されました。

また、北信越学術大会新潟大会で研究発表を行う山崎延幸会員と座長を務める中田健市学術部長が紹介され、北信越ブロック柔道大会に出場する石川県代表選手と監督にエールが送られました。



新入会員の皆さん

写真左から、平田茂豊、作田敬祐、牧野一明、浅居長太郎、島見二、堅田大介、窪田和樹の各会員（赤池央成、堀元会員は当日欠席）。

ご健闘をお祈りします！



北信越ブロック柔道大会代表チームの皆さん

写真左から、西川典孝監督、代表選手の丸田克幸、小倉弘行、城寛忠信、田中寿人、窪田和樹の各会員。

石川県柔道接骨師連盟総会

定時総会に先立ち、午前10時から同会場で石川県柔道接骨師連盟総会が開催されました。

嶋谷清石川県柔道接骨師連盟委員長、上田博



石川県医師連盟副委員長
上田 博氏

石川県医師連盟副委員長、岡田直樹参議院議員(秘書)、田中敬人石川県議会議員、田中博人石川県柔道整復師会顧問のご挨拶があり、議長に神笠郁夫委員、副議長に小松英夫

委員を選出して下記の議題を審議しました。

【議 題】

1. 平成27年度事業実施報告に関する件
2. 平成26年度収支決算報告並びに監査報告に関する件
3. その他

各議題とも詳細な説明と報告があり質疑応答の後、賛成多数にて承認されました。



石川県議会議員
田中 敬人氏



本会顧問
田中 博人氏

表彰状授与式

定時総会開会直前の午後1時より、長年にわたり本会の発展に功績のあった会員を称えて各種表彰状が贈られました。石川県知事表彰は4名の会員が受賞し、ご臨席いただいた谷本正憲知事から「これまでのご尽力に心から敬意を表するとともに、今後も会の発展のためお力添えをお願いします」とお祝いの言葉を賜りました。受賞者には表彰状と記念品が渡され、4名を代表して田村修一会員が謝辞を述べ、さらなる研鑽と精進を誓いました。

挨拶の中で谷本知事は、熊本での支援活動についても説明をされた。

熊本地震が、未だ終息していません。石川県からは心のケア専門家を被災地へ派遣、また避難所の管理運営をするための県職員も出発しました。貴会でも具体的な要請があった場合は、被災者の心に寄り添ったケアでご協力頂けますようお願いいたします。



4名を代表して謝辞を述べる田村会員。



熊本地震災害
募金へのご協力
ありがとう
ございました。

本会では下記の会場で募金活動を実施しました。

- ①定時総会及び会旗争奪少年柔道大会 23,420円
- ②猿鬼走ろう歩こう健康大会 1,239円

なお、集められた24,659円は、5月17日に日本赤十字社石川県支部に持ち込みました(領収証は5月末の会報に掲載いたしました)。

募金に協力する田村会員(定時総会会場にて)。



喜びの受賞者

定時総会の席上、施術を通して地域医療に貢献のあった会員や
本会の発展に尽力された皆さんに表彰状が授与されました。

石川県知事表彰

患者様の笑顔が何よりの報酬

この度、第41回定時総会の席上において、名誉ある医療功労者県知事表彰を谷本正憲石川県知事より賜りましたことは、身に余る光栄と存じ、心より御礼を申し上げます。このようなすばらしい賞を頂いたのも、ひとえに嶋谷会長をはじめ歴代会長、役員の皆様、諸先輩方、会員の皆様のお導きと深く感謝申し上げます。

振り返れば、昭和60年に入会・開業して早30年が経ち、この間に様々な患者様と出会い、いろいろな経験をさせて頂きました。また、日頃の業務以外でも、平成19年3月の能登半島地震の際、発生から1週間後に本会主導のボランティアで訪れた門前町でのことが強く印象に残っています。ライフラインがまだ行き届いていない中、避難所で懸命に生活している被災

者の皆様に触れ、かける言葉がなかなか見当たらず、一日でも早い復旧・復興を改めて願いながら帰路についたことが思い起こされます。

さて、私は「地域を愛し、地域に愛される人間に」を信条に、これまで青年団・消防団・PTAなどの地域活動に参加させて頂きました。これからも地域活動を通じて、人とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

この受賞を励みに今後もさらなる研鑽を重ね、精進し、「患者様の笑顔が一番の報酬」との思いで地域医療にお役に立てるよう努力していく所存です。これからも引き続きご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。



田村 修一

石川県知事
表彰



谷本知事と医療功労者県知事表彰受賞の皆さん(写真左から、二ツ谷剛彦会員、松江義則会員、谷本知事、西川典孝会員、田村修一会員)。

石川県知事表彰

出合いに感謝して

公益社団法人石川県柔道整復師会定時総会の席上、医療功労者県知事表彰を谷本正憲県知事直々に賜り、身に余る光栄と厚くお礼申し上げます。これも、諸先輩方々や会員の皆様のご指導、ご支援のお陰と心から感謝申し上げます。

高校時代、柔道練習中の大ケガをきっかけに柔道整復師の存在を知りました。治療に対する喜びや驚きを感じながら、自分もこんな仕事に就きたいと目指す道を決めたことを覚えております。多くの先生方のご指導を仰ぎながら、昭和61年、生まれ育った地である内灘町で念願の接骨院を開業することができました。地域のみなさんに喜んで頂けることを肝に銘じ、先輩方の背中を無我夢中で追いつけてきました。

平成元年、大先輩の先生からの依頼を受け、委員として本会事業に携わるようになり、平成

17年より理事職、平成27年からは副会長職を務めさせて頂いております。諸先輩方の指導



二ツ谷 剛彦

を仰ぎながらの会務の遂行、地域医療の推進やボランティア活動等の中で、多くの方々からたくさんのお話を学ぶことができました。日々そのありがたさを身に染みて感じながらも、気がつけばあっという間の30年でした。

これからも、いろいろな方々との出合いを大切に、患者様の喜ぶ笑顔と県民の健康増進のために自分ができることを惜しまず、本会の発展と地域医療の向上にむけて邁進していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

石川県知事表彰

入会30年 走馬燈のごとく

第41回定時総会の日、谷本正憲石川県知事より直々に県知事表彰状を手渡して頂き、身に余る光栄と心よりの感謝を申し上げます。早いもので、本会に入会させて頂いて30余年が経ちました。この間、歴代の会長、理事役員、諸先輩の皆さま、本会事務局員の方々のご指導、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

振り返れば私が総務部副部長の時、表彰式の司会を任されて受賞者の方々のお名前を読み上げていたことを思い出します。当時は、名前を呼ばれる側に私かなとは思っていませんでした。また、広報部長の時に原稿の締め切りに

追われていたことや、カメラに少し詳しくなったこと、保険部副部長を任された時には、申請書ガイドを何度も開いていたこと等が記憶に残っております。今、ひしひしと時の流れを感じております。



松江 義則

これからも地域に密着した接骨院、柔道整復師を目指し、頑張っていく所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

石川県知事表彰

気持ち新たに—「手当」の心

平成28年4月24日(日)第41回定時総会の席上において、谷本正憲石川県知事より医療功労者県知事表彰を直々に賜り誠にありがとうございます。この受賞も、嶋谷会長はじめ歴代の会長、役員理事、諸先輩方、同志はもちろんのこと、地域の方々や家族に支えられてのお陰と感謝しております。

振り返れば、柔道整復師の道をめざして37年、開業して31年が過ぎました。この間のいろいろなことが脳裏をかすめます。初めての、そして一人での上腕骨骨折の整復や肩関節脱臼の整復、うまく整復できた時は思わず「やった!」と心の中で叫んだことや、施術が連日深夜まで及ぶことも珍しくなく、無我夢中で業務に励んだことが思い起こされます。

そんな中、当時研修中だった病院で院長先生の見学について病室を回った際、ある患者様が言われた一言が耳に残りました。「院長先生

が患部に手を添えていられると本当に暖かくホッとすると。かなり意味は違いますが、これが本当の「手当」だなと感じ、以後この「手当」の心を胸に刻んで施術に励んできました。

昨今、我々の業界は大変厳しい風にさらされています。日々の研修はもちろん大切ですし大前提ですが、この「手当」の心を持って地域住民に接し、会話を通じて業務に励んでいくことが大事ではないかと感じています。

今回の受賞を機に気持ちを新たに、より一層柔道整復業務に励むとともに本会の発展に寄与できるよう、また地域の皆様の健康に少しでも貢献できるよう努力を惜しまず励んでいきたいと思っています。

各位に於かれましては、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



西川 典孝

受賞された皆さん おめでとうございます

永年会員表彰…会員歴25年以上



会長表彰

写真左から、宮本孫之、宮本孫文、真酒谷清、木山隆久、坂野正明、木村喜久男、野村富子、木藤正幸の各会員(中岸三木、野村広盛、坂井秀一、木藤力郎会員は当日欠席)。

生涯学習認定会員表彰

写真左から、二ツ谷剛彦、木山隆久、佐藤裕之、西川典孝の4会員が受賞。



目整表彰



会長表彰

事務職員表彰

中川利幸事務局長

第22回

石川県柔道整復師協同組合
通常総会を開催

第22回
通常総会

午前11時開会

組合員数 / 353名
出席者数 / 318名
(委任状113名含む)
欠席者数 / 35名
司会進行 / 岡本 透総務委員長



収支決算報告を行う田村財務委員長。

平成28年4月24日(日)午前10時30分より石川県地場産業振興センターにおいて、石川県柔道整復師協同組合の第22回通常総会が行われました。



組合活動への協力に感謝を述べる橋本理事長。

開会に先立ち、橋本大衛理事長が挨拶の中で4月14日に発生した熊本地震で被災された方々へのお見舞いの言葉とともに、平成27年7月に行われた「指定業者特別商談フェスタ」、11月に行われた「協同組合設立20周年記念式典」の成功に感謝を述べました。

続いて総会に入り、議長には神埜郁夫組合員が選出され、審議が行われました。

【議事】

第1号議案 平成27年度事業報告

岡本透総務委員長より報告があり、拍手をもって承認されました。

第2号議案 平成27年度収支決算報告及び損失処理案並びに監査報告

田村修一財務委員長より収支決算報告及び損失処理案の説明があり、佐川信之監事による監査結果の報告の後、拍手をもって承認されました。

第3号議案 平成28年度事業計画(案)

第4号議案 平成28年度収支予算(案)

総務委員長より事業計画(案)が、財務委員長より収支予算(案)が説明報告され、拍手をもって承認されました。

協同組合が3年ぶりの
シュレッダーサービス実施

平成28年5月29日(日)午後1時より柔整会館駐車場で、3年ぶりのシュレッダーサービスを実施。機密情報を専門に扱う業者に出張してもらい、組合員から依頼されたカルテや帳簿類を処理しました。

当日は19名の組合員と事務局の不要書類など約490キログラムを裁断。皆さんから「大変ありがたい」という声を頂き、継続実施(時期は未定)することが決まりました。

金具や紐をはずす地道な作業。



汗たぐの作業、お疲れさまでした。





～柔道整復術の源に「武道のこころ」～

柔道の精神を広め、 伝えていくことに使命

柔道整復術の背景には柔術の伝統と精神が流れています。柔道整復師会では会員が柔道の素養を積み「精力善用」「自他共栄」の精神を施術に活かすとともに、柔道競技の普及にも努めています。

第29回(公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会

窪田柔道倶楽部 3年ぶり 4度目の優勝!!

第29回(公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会が平成28年5月8日(日)、白山市啓武館で開催されました。県下全域から24チーム350名の選手が参加し、会場は観客、役員など1700人の熱気に包まれました。

開会式の挨拶で嶋谷清会長は、大会開催に

ご尽力頂いた皆様へ感謝の言葉を述べるとともに、選手の皆さんには練習の成果を発揮されるよう励ましの言葉を贈りました。ご来賓の白山市長山田憲昭氏、本会顧問田中博人氏からもお祝いと励ましの言葉を頂いた後、加賀聖武館少年柔道教室の市川君が元気な選手宣誓。



嶋谷会長が選手を激励。

加賀聖武館少年柔道教室の市川君が元気な選手宣誓。



負けるなあ～！
がんばれ!!

両者とも一歩も引かないすごい気迫だ！

凜太郎選手が元気良くハツラツと選手宣誓、熱戦の火蓋が切られました。

大声援の中で争われた団体決勝は手に汗握る大接戦の末、くじ引きによる代表戦に。紙一重の好試合を制して窪田柔道倶楽部が3年ぶり4度目の栄冠に輝きました。優勝の窪田柔道倶楽部は10月に東京・講道館で行われる日整全国大会へ、2位の鶴来坂田道場は日整形競技会へ



県内の各道場から集まった350名の選手でスゴイ熱気！



一瞬も目が
離せない!



勝負の行方に一喜一憂。応援席の熱気もスゴイ!



会場の誰もが、かたずをのむ瞬間。

の出場権を手中に収めました。

柔道を通じた心身の健全な育成と少年柔道の振興を目的としたこの大会は、当会最大規模の公益事業です。毎年出場する顔なじみの選手も多く、選手一人ひとりの成長と技術の進歩に驚かされることもあります。柔道を志す子らに練習の成果を十分発揮して頂けたことが主催者にとって何よりの喜びであり、来年の30周年記



おめでとうございます!

選手に インタビュー!

優秀な成績をおさめた皆さんに聞きました。



男子1年の部 辻 慈吾(加賀)

うれしかった。立派な選手になる。ご褒美で犬を飼います。

男子2年の部 水道 啓人(中能登)

うれしい。オリンピックに出られたらいいな。

男子3年の部 林 諒太郎(中能登)

いっぱい練習したので勝てると思った。次も優勝したい。自転車を買ってもらいます。

男子4年の部 辻 陽風(加賀)

勝てると思って頑張った。目標は世界一!

男子5年の部 松川 想良(窪田)

どんな相手でも勝つ!という想いでリラックスして闘った。オリンピックが目標。

男子6年の部 福田 悠真(鶴来坂田)

前夜はぐっすり寝て体調万全。将来はオリンピックに!

女子1年の部 原田 芽衣(石野)

ドキドキした。また優勝したい。

女子2年の部 三崎 せれな(坂田)

また優勝できるよう頑張る。

女子3年の部 廣江 清葉(窪田)

優勝できてうれしい。オリンピックが目標。

女子4年の部 勸田 姫楓(坂田)

優勝できてうれしい。中村選手のようにになりたい。オリンピックが目標。

女子5年の部 山下 万葉(鶴来)

強敵もいたので優勝はうれしい。オリンピックには出てみたい。両親の応援に感謝。

女子6年の部 喜多 なつみ(坂田)

優勝できて両親に感謝しています。オリンピックに出場してみたいです。

団体優勝チーム主将 梅野 樹(窪田)

6年生となり最後の大会で優勝でき大変うれしいです。全国大会ではぜひ優勝したいです。

団体優勝の窪田柔道倶楽部と個人戦で優勝した皆さん。おめでとうございます!

念大会に向けて弾みとなる大会になりました。運営にご協力頂いた県柔道連盟、笠間・鶴来・北辰中学校柔道部、審判団、実行委員の皆さんに感謝申し上げます。

なお、試合結果の詳細は本会ホームページをご覧ください。

※長らくこの大会の審判長を務めて頂いた川端甚次氏が亡くられました。心からのご冥福をお祈り申し上げます。



この大会でしのぎを削った子ども達の中から、2020年の東京オリンピックで大活躍する選手が出てくるかもしれない。

【総合成績表】

平成 28 年 5 月 8 日 啓武館

団体戦		最優秀選手	鈴木 覇		窪田			
優勝	窪田柔道倶楽部	優秀選手	松川 想良	窪田	辻 陽風	加賀		
2位	鶴来坂田道場		福田 悠真	坂田	樋口 和義	津幡		
3位	輪島柔道教室		小島 佑斗	輪島	森田 結喜	能美		
3位	中能登柔道教室		松井颯士朗	中能登	藤岡 響基	邑知		
個人戦 男子1年生	所属チーム	個人戦 男子2年生	所属チーム	個人戦 男子3年生	所属チーム			
優勝	辻 慈吾	加賀	優勝	水道 啓人	中能登	優勝	林 諒太郎	中能登
2位	酒井 政佳	邑知	2位	角地 一颯	輪島	2位	喜多 雄大	坂田
3位	原 侑也	坂田	3位	大屋 伶斗	坂田	3位	國本 宙良	坂田
3位	村上 未来	犀川	3位	神野 怜央	中能登	3位	吉澤 大暉	犀川
個人戦 男子4年生	所属チーム	個人戦 男子5年生	所属チーム	個人戦 男子6年生	所属チーム			
優勝	辻 陽風	加賀	優勝	松川 想良	窪田	優勝	福田 悠真	坂田
2位	西崎 昊	松任	2位	藤岡 響基	邑知	2位	堀川 航	中能登
3位	丸田 大道	犀川	3位	松井颯士朗	中能登	3位	石川 大真	窪田
3位	野中 海心	坂田	3位	鈴木 覇	窪田	3位	谷内 裕一	松任
個人戦 女子1年生	所属チーム	個人戦 女子2年生	所属チーム	個人戦 女子3年生	所属チーム			
優勝	原田 芽衣	石野	優勝	三崎せれな	坂田	優勝	廣江 清葉	窪田
2位	中野里衣菜	坂田	2位	坂 明音	犀川	2位	北村 悠凪	鶴来
3位	平 梨乃	松任	3位	勘田 涼羽	坂田	3位	出口 鈴	コアコン
3位	中畠 美月	邑知	3位	山森 陽菜	中能登	3位	平 彩乃	松任
個人戦 女子4年生	所属チーム	個人戦 女子5年生	所属チーム	個人戦 女子6年生	所属チーム			
優勝	勘田 姫楓	坂田	優勝	山下 万葉	鶴来	優勝	喜多なつみ	坂田
2位	河崎 蒼	窪田	2位	新木 美紅	石野	2位	黒澤 友翔	松任
3位	大河内結衣	窪田	3位	杉山 夏妃	松任	3位	戸澗 望愛	七尾
3位	中村 美羽	七尾	3位	遠塚谷 文	坂田	3位	山出 愛実	邑知

柔道

●JUDO●

四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック柔道大会選手選考会

接戦を制し、金沢南支部が連覇

平成28年4月10日(日)、白山市松任総合運動公園「啓武館」において四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック柔道大会選手選考会が開催され、各支部の荣誉と代表選考をかけて熱戦が展開されました。

第1試合 金沢南支部 vs 能登・加賀支部

昨年の石川県代表として活躍した3選手に新人の窪田選手(先鋒)が加わり最強と噂の金沢南支部が5-0で圧倒。北信越ブロック大会最優秀選手の城寶選手に赤池選手が挑んだ副将戦は注目を浴びました。

第2試合 能登・加賀支部 vs 金沢北支部

日整全国大会出場の小倉選手を中心とした重量チームの金沢北支部が4-1で圧勝。中堅戦では、連敗の能登・加賀支部が懸命な戦いで一矢報ました。

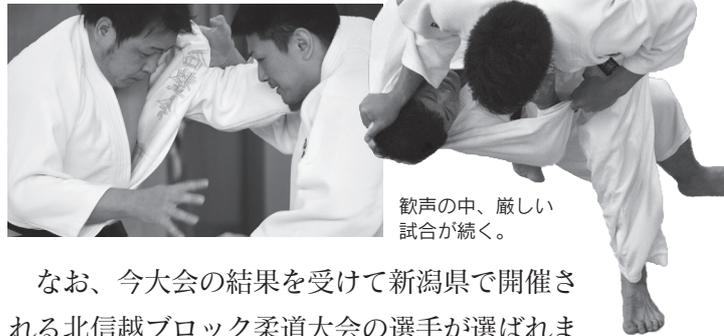
決勝戦 金沢南支部 vs 金沢北支部

両チームともに百選練磨の猛者ばかり、結果は4-0で金沢南支部が連覇を果たしました。先鋒から大将まで実力伯仲で、試合後半まで勝敗がつかない決勝戦にふさわしい試合となりました。また、先鋒の代表選考は再試合で僅差により窪田選手に決まり、今後の活躍が期待されます。

優勝
金沢南支部
準優勝
金沢北支部
3位
能登・加賀支部



金沢南支部が貫録の優勝。



歓声の中、厳しい試合が続く。

なお、今大会の結果を受けて新潟県で開催される北信越ブロック柔道大会の選手が選ばれました。選手達は10連覇がかかる大会に向けて、厳しい練習に打ち込みます。

応援よろしくお祈いします。

◎ 出場選手の皆さん

太字は会長奨励賞

	金沢南支部	金沢北支部	能登・加賀支部
先鋒 20代	窪田 和樹	福岡 亮	森 陽一郎
次鋒 30代	畠山 太輔	山田 祐輔	百井 和浩
中堅 30代	田中 寿人	松永 日和	角浦 大介
副将 40代	城寶 忠信	小倉 弘行	赤池 敬順
大将 50代	丸田 克幸	長永 孝仁	百谷 実



金沢北支部



能登・加賀支部

第38回北信越ブロック柔道大会

烈火の如く 伝説となる 10連覇達成!!

昨年、輝きの9連覇を果たし10連覇がかかる新潟大会。選手はじめ石川県応援団約30名は伝説となる大会を目に焼き付けようと、新潟市鳥屋野総合体育館武道館に集まりました。

平成28年6月18日(土)梅雨の合間の盛夏を思わせる暑さの中、第38回北信越ブロック柔道大会が開催されました。各県より選抜された猛者たちの目標は打倒石川！会場で繰り広げられる熾烈な戦いを制し、石川県チームは見事10連覇の偉業を成し遂げました。

5月初旬より約2か月間、施術後の夜に幾度もの強化練習を重ねて試合に臨みましたが、他県の選手団も石川を研究し気迫も十分。実力がほぼ互角の中、石川県は初戦富山県を5-0で、第4試合福井県を3-1で下して勝ち上がり、決勝戦へと駒を進めました。

10年連続で長野県との対決となった決勝戦は、すごい応援団を引き



【成績】

西部予選リーグ

石川5-0富山
福井2-0富山
石川3-1福井

東部予選リーグ

長野3-1新潟

決勝戦

石川2-0長野

連れての対戦となりました。先鋒、次鋒、中堅と引き分け、副将戦では小倉弘行選手が先手を取られながらも試合終盤に伝家の宝刀「内股」ならぬ「隅返し

(すみがえし)」で逆転1本！大将戦では丸田克幸選手が激しい試合を有勢勝ちで制して2-0の勝利、10連覇を成し遂げました。練習のため遠方より指導に通った西川監督は万感の思いで選手達と優勝を喜びあっていました。

なお、最優秀選手に城寶忠信選手、優秀選手に丸田克幸選手が選ばれ、窪田和樹選手・田中寿人選手を加えた4人が10月10日(月・祝)

石川県
代表選手の
皆さん



先鋒
窪田 和樹
(三段)



次鋒
田中 寿人
(五段)



中堅
城寶 忠信
(五段)



副将
小倉 弘行
(五段)



大将
丸田 克幸
(六段)

に講道館で開催される日整全国柔道大会に北信越西部代表として出場することが決定、西川監督も代表監督に就任しました。

石川県は、今大会の応援に駆け付けた会員の数がどの県よりも圧倒的に多く、奮戦する選手達に大声援がおくられました。全国大会でのご健闘をお祈りします。



石川県チームと応援団の皆さん。

ご声援ありがとうございました



石川県代表監督
西川 典孝

会員の皆様、また当日会場で応援頂いた皆さんのお陰で優勝することができました。誠にありがとうございました。

10連覇が掛った今大会は、以前にも増してひしひしと重圧を感じておりました。選手たちは、5月の連休明けから週2回、日常の業務を終えてから道場に集まり、一つになって稽古に励んだ結果が10年連続優勝に結びついたものと思います。また、この10年間に活躍された選手、監督の皆さんの努力の賜と感謝しております。

今年は選手の故障や体調不良が見られ、万全とは程遠いコンディションでした。しかしそこは、各選手の自覚と目に見えない努力、そして長年培った経験で大会当日には見事な試合運びで他県選手を圧倒してくれました。

10月の日整全国柔道大会には、北信越西部代表として本県より窪田和樹・田中寿人・城寶忠信・丸田克幸の4選手と私が監督として出場する予定です。会員各位におかれましては、遠路ではございますが会場にて、また各施設所にてご声援を頂ければと思います。

重ねてではございますが、誌面をお借りして御礼申し上げます。

6/7 稽古に励む大会出場選手を激励訪問

新潟県で開催される北信越ブロック柔道大会が10日後に迫った平成28年6月7日(火)午後9時、嶋谷清会長ほか数名の理事が竹野道場(金沢市)を訪ねて出場選手を激励しました。

訪問時は西川典孝監督の指導の真っ最中で、選手達の身体からは大量の汗が噴き出していました。嶋谷会長からの激励の言葉、堂本・二ツ谷両副会長からの期待と労いの言葉に選手達は、帯を締め直して稽古に励んでいました。

選手達は毎日各自練習を重ね、週に2日竹野道場に集合して夜遅くまでの合同練習に取り組んでいました。



噴き出す汗!

稽古を拝見。その真剣さに引き込まれる。

高齢化社会の医療、介護が学びのテーマに



第38回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会が平成28年6月19日(日)午前9時よりホテル日航新潟で開催され、県民公開講座・協賛発表・会員研究発表が行われました。

県民公開講座での上原先生の呼びかけに、我々柔道整復師も勇気づけられた。

学術大会前日の開会式は、学会会長を務める(公社)日本柔道整復師会 工藤鉄男会長の挨拶と(公社)新潟県柔道整復師会 阿部松雄会長の歓迎の辞で始まりました。続いて行われた懇親会は学会成功を期して大いに盛り上がり、参加者が親交を交わしました。

当日の参加者は326名と満席の会場で学術大会がスタートしました。「高齢化社会での救急医療」と題した県民公開講座では、川越救急クリニック院長 上原淳先生が救急医療の現状と課題について講演を行いました。生命の危機に関わる三次救急体制を充実させるためにも、二次救急の患者さんの受け入れの重要性について話され、医接連携にも触れつつ「来たる高齢化社会に向けて、24時間安心して医療が受けられる社会をみんなで協力して作っていきませんか?」と呼び掛けられ、我々柔道整復師も大いに勇気づけられた講演でした。

午後からは昼食をとりながらのランチオンセミナーがあり、(公社)日本柔道整復師会・介護対策課より「柔道整復師と介護保険について～地域包括ケアシステムへの貢献～」とし題して講習が行われました。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください。

協賛発表

「LSCS診断サポートツールの比較検討」

北信越柔整専門学校助教 三浦 俊明先生



腰部脊柱管狭窄症診療ガイドライン2011診断基準に基づき、二つの診断サポートツールについて利便性と特徴を検証し比較を試みた。

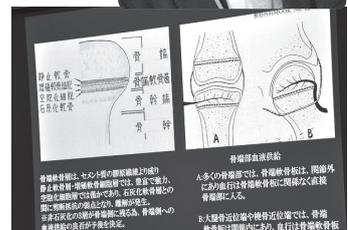
会員研究発表

「小児の橈骨骨幹端領域骨折(骨端線離解を症例に臨床経験と考察)」

山崎 延幸会員



小児骨折の特殊性と、正しい判断や適切な処置の重要性について臨床経験を交えながら発表。



中田健市学術部長が山崎会員の発表の座長を務めた。



今大会での発表者の皆さん。

石川接骨みらい塾



臨床47年—— 医師から学んだことと コミュニケーションの取り方

講師 ■ かわもと接骨針灸院 院長 川本 力雄

平成28年5月22日(日)、石川県地場産業振興センターで石川県柔道整復師協同組合主催の石川接骨みらい塾が開催されました。講師の川本力雄組合員はスライドを見せながら、医師との連携の取り方やその際のマナーについて、また患者さんとの接し方等についてお話をされました。



講師の熱い語り口に引き込まれる参加者。

医師との交流は、昭和53年に石川医療懇話会に入会したのがきっかけでした。ここで会報の編集委員に立候補し医師との関係を築いたのです。医師をはじめ臨床検査技師、針灸師ほかたくさんの先生方から執筆を頂き、編集作業を行いながら質問を投げかけるとその場で医師に答えてもらえるという貴重な時間でした。その頃の会報に、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・保健師・柔道整復師・針灸師・栄養士などが連携して住民の健康上の問題・疾病に対して総合的・継続的な対応が必要との記事があり、当時からプライマリ・ケアについての取り組みが行われていたのです。

私達が医師や医療関係者との信頼関係を深めていくためにはまず、カルテの管理と記録・エビデンスをしっかりと行えることが重要だと考えます。



医師に紹介状を書く際は、依頼の目的が診断なのか治療なのか、診断後の指示・加療のためなのかはつきりさせること、そして①いつ ②どこが ③どのように ④どの程度 ⑤どのような状況 ⑥増悪因子 ⑦随伴症状 その他、時間の経過、既往歴、内服、アレルギー、通院歴などをわかり易く記入してください。ここで覚えておいて頂きたいのは、医師を「ウーン」とうならせる内容の紹介状は、医師が積極的な行動を起こす要因になるということです。紹介先で気持ちよく診察治療を受けられるように、患者さんの希望を熟慮することも大切です。

医師との交流は医療情報の吸収と知識のブラッシュアップ、臨床力量の向上のためにも必要不可欠です。患者さんはいつも“先生(施術者)”を見えています。親身になってくれるかどうか真剣に値踏みしているのです。傷病の経過を充分に拝聴・共感し、患者さんの立場に立って接してください。安易な医学的解釈を押し付けてはいけません。これからも思いやりと情熱をもって頑張っていきましょう。

Support Sekkotsu
Ishikawa
SSI
サポート接骨
石川

サポート接骨石川(SSI)活動①

第30回 猿鬼歩こう 走ろう健康大会

晴天に恵まれた平成28年5月8日(日)、能登町柳田運動公園で第30回猿鬼歩こう走ろう健康大会が開催されました。今年は町内の小・中・高校からたくさんの児童・生徒が加わり、ウォークとランに過去最多の1,973人が参加しました。

■ 開会式で感謝状を頂く

会場の柳田運動公園では能登高校の書道パフォーマンスや「ウイングオーケストラのと」の演奏が行われ、柳田出身の写真家 梅佳代さんと、シドニーオリンピック女子マラソン代表の市橋有里さんがゲストで出場し大会を盛り上げました。

本会のケアサポート活動も回を重ねて14回目となり、第30回という節目の大会となる今年、開会式で感謝状が授与されることになりました。能登地区でのケアサポートのシンボルとなっている赤十字マークが入った真っ赤なポロシャツ姿の



福池大会長より感謝状を受け取る山田支部長。

ハーフマラソンの選手が飛び出していく。

豪快！能登高校の書道パフォーマンス。



山田俊志能登支部長が壇上に。大きな拍手のなか、福池正人大会長より感謝状を受け取りました。

■ 親子二代で参加の会員が2組!

その1時間以上前の午前7時過ぎから、ケアサポートは始まりました。猿鬼歩こう走ろう健康大会は、会旗争奪少年柔道大会と日程が重なるため参加会員の確保に苦勞する年もあったのですが、今年は24人(会員23人+家族1人)がケアサポートに参加しました。なかでも二又俊孝会員



親子二代で参加の二又会員(右)と赤池会員(上)。



疲れた筋肉のケア。

走る前から
テンション
MAX!



この笑顔に癒やしの効果。

は研修中のご子息と、赤池敬順会員は入会したばかりの央成会員とペアで参加。親子二代で2組もケアサポートに加わったのは初めてのことで、初参加でも臆することなくしっかりとケアを行う息子さんの姿に目を細めていました。

ランとウォークのすべてがスタートした10時頃、ブースには一瞬の静寂が訪れます。その間を利用して金沢南支部の東勝一会員によるケアサポート講習会が行われ、さらに各自が自然と集まって勉強会が行われていました。



自然発生的に勉強会が始まる。

職場体験学習の中学生たちも頑張ってくれた！

また10時30分頃からゴールした選手が集中して忙しくなりますが、職場体験学習の一環として今年初めて手伝いに来てくれた柳田中学校の男子生徒3人が、選手の案内や籠の片付けなどで一生懸命にブースのムードを高めてくれました。会員も19台のベッド、マットレス、長椅子までフル活用してケアにあたり、昨年より40人も多い204人にケアを行いました。学校が生徒さんを預けてくれるのは信用と信頼を頂いているからこそ、これも長年の活動が評価されている証だと思います。

今年のサポート活動ではうれしい“初めて”がたくさんありました。立派な感謝状も頂き、サポート活動が本当に喜ばれていることを実感します。歴史のあるこの大会のためにこれからも頑張りたいと思います。

〈施術データ〉

	男性	女性	合計
ブース利用者	122名	82名	204名

第65回 金沢百万石まつり

第65回金沢百万石まつりが平成28年6月3日(金)より始まり、4日(土)にはメイン行事の百万石行列が華々しく行われました。行列では総勢約2,500名が長蛇の列をなして、金沢駅東広場前から金沢城公園までの3.1キロを約5時間かけて歩きます。参勤交代を思わせる豪華絢爛な時代絵巻を見ようと、沿道は42万人もの観客で埋まりました。

百万石まつりでは例年、日赤奉仕団が祭りの安全・救護のためにボランティアを行っており、(公社)石川県柔道整復師会も金沢北支部会員を中心に18名が参加。学生も含む総勢135名とともに活動しました。

救護本部は行列行程の3か所に置かれ、スタート地点の駅前本部には行列開始の2時間前に集合して、ミーティングのあとすぐに活動を開始。午後2時、金沢駅東広場 鼓門前に響く勇壮な太鼓と加賀鳶の纏総振りを皮切りに百万石行列が動きだしました。行列とともにボランティア活動の中心も駅前から武蔵、香林坊へと移動し、行列が終わった後も、約12,500名が参加した百万石踊り流しが終わる午後9時まで続きました。



勇壮な太鼓の響きとともに行列がスタート。

救護では、脱水症状やてんかん発作で救急搬送される観客や足関節を捻挫した加賀鳶参加者、軽度のケガや体調を崩され救護所を訪れる人々が多くいました。金沢市中心部では行列以外にもたくさんのイベントが行われていたのですが、幸い大きな事故も無く活動を終わることができました。

喧騒の中を巡回。

加賀鳶の参加者が捻挫。



脱水症状で救急搬送される観客も。



総勢135名の協力で、無事 任務完了!



サポート接骨石川 (SSI) 活動 ③

第13回 全国小学生 学年別柔道大会石川県大会

平成28年6月12日(日)、松任運動総合公園 啓武館において全国小学生学年別柔道大会石川県大会が開催され、(公社)石川県柔道整復師会 SSI (サポート接骨石川) から救護として西川典孝会員が早朝より参加しました。

この大会は小学校5・6年生が男女別、体重別に分かれて試合を行い、優勝者は8月に行われる全国大会の出場権を得ることができます。



西川会員が救護を担当した。全国大会を目指して石川大会が始まる。



2016年(下半期) SSI活動予定

- 8月 21日(日) チャレンジマイハート草刈り奉仕作業(野々市サニーマイト)
- 9月 4日(日) 石川県防災総合訓練(山王小学校)
25日(日) 小松鉄人レース ケア・サポート(小松ドーム)
- 10月 16日(日) 野々市じよんからの里マラソン ケア・サポート(野々市市民体育館)
23日(日) 金沢マラソン ケア・サポート(西部緑地公園)

※野々市じよんからの里マラソン、小松鉄人レース、金沢マラソンのケア・サポート活動に備えて、それぞれ大会前に事前研修会を実施しました。

4/17(日) 加賀温泉郷マラソン 2016 天候悪化で中止

平成28年4月17日(日)に開催予定だった加賀温泉郷マラソンは、暴風雨警報が発令されたため午前6時に中止が決定、前日より事前研修会やブース設営等の準備をしていた会員たちは落胆の表情で撤収をしました。

突然の中止を知らずに会場に来た選手たちのため、大会運営側はゲストの増田明美さんとの握手会とサイン会を実施。来年度は無事開催できることを願っています。



会場に着くと看板も倒したまま。



ランニング指導とファンランのため前日から訪れていた増田明美さんのサイン会を実施。

がび〜ん (>O<)

石整広報

100号発刊に寄せて——

会員への情報提供と共感の場として途切れることなく発行されてきた『石整広報』。第100号に寄せて、歴代広報部長にコメントを寄せて頂きました。

ありがとう 「石整広報」創刊号 おめでとう100号

川本 力雄(昭和54年より1期担当)

1979年(昭和54年)、折からの雨に紫陽花が、ひととき鮮やかに主張する6月、石川県柔道整復師会初の広報誌第1号が誕生。少しでも業友の連携の足がかりになればという積極的着想でもあった。広報委員4名は独断で選ばせてもらった。いずれも個性にあふれ、言葉の表現力や独自性を備えたつわものだ。能登支部の(故)山田正徳、加賀支部の谷口久信、金沢北支部の板橋透、高田外司の各会員である。

4氏は、広報誌が会員から協調・共感を得られるようにと、明快で無駄のないページ作りのため熱い想いをもって行動をともにしてくれた。部長とは名ばかり、力量不足の私は随分とご迷惑をかけてしまった。しかも依頼しても集まらぬ原稿にヤキモキする私を尻目に、添削から校正まで、ワープロやパソコンのない時代、会員の自筆で一文字一文字、時間と精根を傾けていただいた。なお、石整広報の題字は谷口会員の奥様に揮毫して頂いたものだ。感動は“感じて動く”ともいう。改めて筆舌尽くせぬ感謝の意を表します。ありがとう。

「腹が減っては戦はできぬ」とは言っても、コンビニすらない時代。それだけに創刊号を手にした時の各人の顔、頁をめくるとプーンと鼻を



広報誌創刊に向けて編集会議を行う初代広報部の面々。

創刊号発刊

B5判でぎっしりと読み応えのある内容。手に取ってすぐ内容がわかるように、表紙に目次を持ってきたのが当時としては斬新だった。



突くインクの匂い、37年経った今もあの日のあの時を思い出す。特筆すべきことは、当時では珍しく目次と頁を表紙に掲載したことであろうか。

さて、読者は広報誌100号までの時の流れを共有して頂けたでしょうか。次なる200号に何を期待しますか？私は常に読み手の期待を裏切ることなく、わかりやすく(明確に)、短く(簡潔に)、すっきりと(共感)、願わくば作り手(書き手)と読み手が共有・共感できる広報であってほしい。さらに広報委員自らも、楽しく作る喜び、進化する喜びを味わって頂きたいと思っています。

石整広報第100号記念誌発刊に出会えて感謝。

広報の役割—— 誌面を通じて 共感の輪を広げたい

川上 利昭(平成9年より4期担当)

「石整広報」が第100号を迎えたとのこと、誠におめでとうございます。その広報誌発刊に携わった者の一人として何か感想をとの依頼を受

石整広報発刊100号に寄せて

け、昔を思い出しながら書いてみました。

私が広報部長にご指名を頂いたのは平成9年、思いがけない要職と思いつつも、それまで地域の町会や子ども会、育友会等のお世話をしてきたなかで広報活動を重要視してきた一人として快く引き受けました。

まずはこれまでに発行された「石整広報」を読み返しながら、マニュアルに添って年2回の発行を試みました。しかし、より内容を充実させて会員の皆様に読まれているという手応えを感じたい…そんな気持ちを部員の皆様にも伝え、一緒に考えることにしました。

- 年2回の発行の場合、4月の定時総会が9月号掲載になるなど記事に新鮮味が欠けるのでは？という意見から、年3回発行を検討。
- 頁数が60～80頁に及び、果たして全部読んで頂いているのか疑問を抱いた。広報編集の専門家の助言をもとに、届いたその日に一気に読んでもらえる30頁前後で作ろうということになった(これまでの石整広報の批判ではなく、あくまでも発行回数と頁数の検討)。
- 広く積極的に取材し、記事はわかりやすく写真を多く取り入れる。特に出席できなかった会員の皆様に、記事の背景が忠実に伝わるように、そして一人でも多くの会員に読んで頂けるよう心掛ける。
- 「日整広報」の石川県だよりには毎号必ず投稿する。「石整広報」の編集後記は広報部としての思いを大いに書く。

広報部会でこのような議論をし、心機一転、約30頁の石整広報第47号が平成10年9月に発刊されたのでした。

私が広報部長の要職を頂いたのは4期8年間で、「石整広報」第66号まで実に19回の発刊に携わることができました。その間、堂本義邦先

生(現副会長)、永原克男先生(加賀支部)、山田俊志先生(現経理部長)に副部長として支えて頂き、少人数ながら優秀な広報部員に恵まれ、広報の目的、意義を十分に理解し一致団結して編集にあたって頂きました。そして、編集にご協力頂いた生活文化社(現 編集室 e - コミ)の泉谷浩美さんには本当にお世話になりました。

第1号を発刊したのが大切な友 川本力雄先生であり、私が節目の第50号発刊に携わったのも何かのご縁であったかと懐かしく思い出しています。「石整広報」第100号の発刊、重ねておめでとうございます。

広報誌は 人と人を結ぶ「強い絆」 であってほしい

山田 俊志 (平成17年より3期担当)

石整広報100号が発刊されることに大きな喜びを覚えるとともに心からお祝い申し上げます。

私が本会の広報誌の発刊に関わるようになったのは、平成15年に本会の理事に就任し、広報部の副部長を仰せ付かった第61号からでした。その時の、担当副会長は初代広報部長の川本力雄先生、広報部長は川上利昭先生、部員の先生方もベテラン揃いでした。私は広報誌の作成にかかわるのははじめてで、苦手な分野でしたので何もわからず、皆さんからご指導を頂き本当にお世話になったことを思い出します。私自身、巻頭言やメンバーズボイスにどのような原稿があがってくるのか毎号楽しみでしたし、多くの方にとっても石整広報は励ましとなり、道標となったのではないのでしょうか。

平成17年、広報部長に就任したその年が本会の社団設立30周年でした。第66号が特別企画号となり、それに合わせて創立30周年記念誌CD版も発行することになりました。その準

進化 ①

一気に読める30頁前後にし、発行を年3回に増やしてタイムリーな広報誌を目指した。会員が撮影した写真を表紙に採用しカラーにした。



進化②

B5判からA4判に。読みやすさを考えて文字を大きくし、ゆとりを持ったレイアウトを心がけた。

手探りで進めたCD版記念誌。写真を一枚一枚データ化するという地道な作業だった。



備のため、会員の皆様に創立当時の写真を募集したところ段ボールにいっぱい集まり、それを広報部全員で整理するなど、記念誌CD版作製に苦勞したことが今でも良き思い出として深く残っています。その中に、昭和54年の石整広報創刊当時の編集会議を写した1枚があり、意欲に満ちた川本初代広報部長と部員の先生方の様子に感動して拝見したことを思い出します。

平成24年の84号まで発行に携わらせていた

だき、その後も発行された広報誌を本会のホームページにアップしていますので、毎号楽しみにしています。100号という大きな節目まで関わる事ができたことは誠に光榮です。

平成19年に、日整の広報部員という貴重な経験をさせて頂くことになり、現在に至っています。もう10年が経とうとしていますが、本会で学んだ原稿の書き方、写真撮影の仕方などが日整でも本当に活かされ、私をご指導頂いた多くの方々と100号を迎えた「石整広報」に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも先達の良き伝統を継承しながら200号を目指し、会員はもちろん一般の方々にも元気を与え、より良い情報を伝えて頂きたい。より多くの方々と結びつく「強い絆」としての役割を果たす広報誌へと発展していくことを願っています。

100号から200号へと つないでいきたい

現広報部長 佐藤 裕之

私が広報部長を引き継いだのが5年前、広報誌に新風を吹き込み、すばらしい広報部を形成した山田俊志先生からの引き継ぎでした。かなりのプレッシャーを感じながらも、悪戦苦闘しつつどうにか頑張ってきました。初代川本力雄先生・第7代川上利昭先生からも広報部・広報誌を作り上げていくうえでのご指導を頂き、皆様の思いが現在の viva・city (ビバ・シティー) に結実したものと思っています。一緒に作り上げてきた部員の方々にも感謝申し上げます。

第100号発行という歴史の重みを感じながら、これからつながる広報誌を作成していけるよう部員ともどもますます努力と精進をしていきます。

第100号までつないで頂いたことに感謝申し上げます。

進化③

公益社団法人移行の時期。公益関連の記事は「ビバ・シティ」に、共益関連の記事は「石整広報」にとすみ分けを行った。



進化④

「石整広報」と「ビバ・シティ」を再び合体させて、会員だけでなく患者様にも興味を持って手に取って頂ける広報誌を目指している。



支部だより

金沢北支部

平成 28 年度金沢北支部委員会開催 今年度行事の準備状況を確認

平成28年5月15日(日)午後6時より、柔整会館2階会議室において理事、委員10名が出席して金沢北支部委員会が行われました。冒頭、金田豊茂支部長のもと現在の北支部委員の組織構成について討議、検討を行い、その後、本年度予定されている行事一つひとつについて準備工程などを確認し、終了しました。



金沢北支部委員の皆さん。

ボランティアで気持ちいい汗 クリーン・ビーチいしかわ in かなざわに参加

平成28年5月29日(日)午前7時から金沢市粟崎海岸周辺で行われた清掃ボランティア活動に参加、金沢北支部会員とご家族、金沢南支部からの1名を含む総勢38名が気持ちの良い汗を流しました。

クリーン・ビーチいしかわは、毎年県内で一斉に実施される恒例行事ですが、金沢市では5つの会場に5,124名のボランティアが集合、集められたごみの総量は約15トンにもなりました。



親子で楽しく参加



活動を終えて、青空に負けないくらい爽やかな気分。

粟崎浜でも約835名が参加し、地元の患者さんや友人と出会うなど和気藹々とした雰囲気の中で、早朝から充実した時間を過ごしました。昨年続く2回目の参加でしたが、参加した会員にも好評で、本会の良いアピールにもなったのではないのでしょうか。



皆様の投稿を お待ちしております。

テーマは自由。日々の雑感や接骨院へのご意見など、なんでも結構です。川柳、短歌、俳句等の作品やイラスト、絵手紙なども大歓迎です。

【送付先】

メールの場合 ■ B.sonnix@po3.nsknet.or.jp
広報部 佐藤裕之 宛

※件名に「広報原稿」または「広報写真」と入力ください。

郵送の場合 ■ 〒920-0031 金沢市広岡2丁目3-26
石川県柔道整復師会 広報部 佐藤裕之 宛

※封筒に「広報原稿」または「広報写真」と明記ください。

新入会員紹介



平成28年4月1日入会

赤池 央成

(あかいけ ひさなり)

生年月日 昭和61年2月3日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 羽咋郡志賀町高浜町ヤ
13-5

接骨院名 いろいろ接骨院

電話 0767-32-3323

特技・趣味 家族団らん・温泉旅行



平成28年4月1日入会

浅居 長太郎

(あさい ちようたろう)

生年月日 昭和55年12月27日

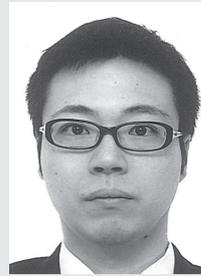
出身校 北信越柔整専門学校

住所 金沢市朝霧台1丁目66
番地

接骨院名 ちようたろう接骨院

電話 076-299-7137

特技・趣味 釣り・サーフィン



平成28年4月1日入会

堅田 大介

(かただ だいすけ)

生年月日 昭和59年9月7日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 能美市松が岡1-57

接骨院名 かただ接骨院

電話 0761-51-4485

特技・趣味 バスケットボール・自動
車のディーラー巡り



平成28年4月1日入会

島 晃二

(しま こうじ)

生年月日 昭和61年3月16日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 野々市市御経塚1丁目304
番地

接骨院名 野々市駅前のしま接骨院

電話 076-205-6356

特技・趣味 野球



平成28年4月8日入会

窪田 和樹

(くぼた かずき)

生年月日 平成1年6月1日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 金沢市高尾南3-14

接骨院名 窪田接骨院

電話 076-298-1121

特技・趣味 柔道・ゴルフ



平成28年5月24日入会

森本 忠夫

(もりもと ただお)

生年月日 昭和31年6月3日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 能美市湯谷町乙93番地

接骨院名 森本接骨院

電話 0761-48-4619

特技・趣味 囲碁・スノーボード



平成28年6月17日入会

北川 丈

(きたがわ しょうご)

生年月日 昭和42年7月29日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 かほく市宇野気ト119-6

接骨院名 北川接骨院

電話 076-283-2590

特技・趣味 釣り・ゴルフ

Topics

-トピックス-

トピックス①

平成27年度IST総会・継続認定講習会 栄養管理士 石井美子氏による講演を実施



総会で挨拶を行う北岡克彦 | IST会長。

平成28年4月3日(日)、木島病院体育館において平成27年度IST(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)の総会及び認定継続講習会が開催されました。

総会には50名の会員が参加し、年度計画や事業報告、予算・決算報告が異議なく可決されてそのまま認定継続講習会へ移りました。

今年度の講師は、JISS(国立スポーツ科学センター)の契約研究員で管理栄養士の石井美子先生です。女子栄養大学、女子栄養大学大学院卒業後、社員食堂業務に携わり、短大助手、

国立健康・栄養研究所での勤務を経て、現在はJISSで主に女子ウエイトリフティングの選手をサポートし、無月経女性アスリートの食事調査や栄養指導をされています。JISSでの栄養学の取り組みやオリンピック強化選手個人の栄養管理について説明される中で、食物に含まれる栄養素の量が今までの常識が通用しないくらい低下している点等を詳しくお話しされました。



栄養学の観点からアスリートを支える石井美子先生。

総会に続いて認定継続講習会を実施。

❖『石整広報』100号を無事発行することができました。第1号の発行は昭和54年、インベーダーゲームが流行し、自動車電話サービス開始、ソニーのウォークマン発売等の話題が続いた一方、野球の江川卓問題も印象に残っています。今年はまだ明るいニュースがありません。私達も明るいニュースを提供できるように頑張ります。（佐藤）

❖暑中…いや、残暑お見舞い申し上げます。この号が皆さまの手に届く8月下旬には、喧噪のリオ五輪も終えてメダルの行方は如何に！期待の心持ちで記しています。

❖記念すべき『石整広報』100号発行と、北信越ブロック柔道大会史に刻まれる10連覇達成の偉業に携わることができて光栄に思います。「明確に、簡素に、楽しく、共感できる」を胸に200号発行につなげたく思います。（木山）

❖愛車の燃費が良くなりました。それもそのはず、千里浜から実家まで50キロ離れていますが「のと里山海道」を使うと信号が11箇所しかありません。「そりゃあ燃費も良くなるわ」という話を金沢の先生にしたところ「50キロで信号11箇所。それ、どこの国の話？」と笑われてしまいました。能登は日本の領土です。（中野）

❖宝達山頂までドライブをしてきました。当日は曇天で、晴天なら一望できる絶景は全くなわず視界5メートルでした。休憩施設「山の龍宮城」で店員さんとおしゃべりして懐かしいデザインの袋（30年前と変わらず）に入った寶達葛を買い求めました。寶達葛の歴史は450年以上あります。医者のない時代、過酷な金鉱掘りをしていた人々の健康管理のために作り始めたのが起源だそうです。葛には賞味期限がなく食欲不振、夏バテ、下痢、二日酔いなどに効果が期待されるとのこと。私事、二日酔いに活用します。（橋本）

❖世界的に大ヒット中のスマホアプリ『ポケモンGO』が7月22日、日本でも配信されました。街中でスマホをかざすと、画面に映る実際の風景の中にポケモンが出現しそれを捕まえるというゲーム。外に出るとスマホを見ながら歩いている人がたくさんいて異様な感じがします。さて私も散歩しながらポケモンを捕まえに行こつと、(^o^)
（木藤）

❖夜のコンビニに立ち寄ったときのこと。商品の陳列棚の上に一羽の蛾が羽を休めていました。純白の毛をまとい、翡翠色の羽を広げ、綺麗な蛾媚を備えるその姿は、貴婦人のよう。思わず心を奪われました。調べてみると、オナガミズアオという比較的個体数の少ない蛾だそう。ステキな出会いはいつどこでおきるかわかりませんね。（太田）

❖雨上がりに煙草が吸いたくなって表に出た。一服しながら何気なく隣のブロック塀に目をやると、蝸牛があちこちにくっ付いていた。何と無く懐かしく思えてしばらく眺めていたが、蝸牛のことを何も知らない自分に気がついた。まだまだ、これからこれから。（小松）

❖夏休みに入った。我が家にも小学生が2人いて、朝6時30分前にラジオ体操に行く。出席カードに印を押してもらい、最後に花火や飲み物をもらうとのこと。いつになく早く起きるのはそのためだ(笑)。最近、体が硬く筋力も落ちてきたので私もやってみようと思い調べたところ、ご当地弁（津軽弁や博多弁など）のラジオ体操CDがあるようだ。それを聞きながらやれば長続きするかも…。（唐木）

❖少子化が小さな町村の運営にも陰を落とし始めている。秋祭でも輪踊りを止めたという噂がちらほら。仕事優先、恥ずかしがり屋、苦肉の策のくじり、マンネリ化…で、さらに不参加に。解決策として子供会で輪踊り講習会を実施。少ない人材でも将来の地域の運営に携わろうという意識を持つ若木が育てば…18歳選挙権、「想い」は届くか？
（五十嵐）





撮影 金沢南支部 木山 隆久会員
使用カメラ: ニコンD 90
使用レンズ: AF-S NIKKOR 18mm-300mm
P: プログラムオート

[第 65 回 金沢百万石まつり]
加賀藩政時代の歴史の面影を今に伝える百万石まつり。そのメイン行事である百万石行列はJR金沢駅鼓門からスタートします。出発式は大太鼓の一打にはじまり、打ち手270名の躍動感あふれるパチさばきから生み出される迫力ある響き! 辺りを埋め尽くした観客も高揚感に包まれていました。



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp